

医療費負担にかかるハガキアンケート集計結果

2012年7月3日
岩手県保険医協会

調査期間：2012年5月10日～6月30日

対象者：被災し医療費の免除を受けている方で現在通院されている方

対象地域：岩手県全域

アンケート用紙配布先：仮設住宅群、会員医療機関

回収枚数：3020枚（7月3日時点）

1. 現在通院されている方へ。病名又は診療科について、差し支えなければご記入をお願いします。

（上位10項目以外はその他にまとめて表示）

診療科			病名		
内科	752	29.2%	高血圧	679	30.9%
歯科	410	15.8%	歯科疾患	410	18.6%
眼科	326	12.6%	糖尿病	174	7.9%
整形外科	213	8.2%	高脂血症	82	3.7%
皮膚科	149	5.8%	脳梗塞	53	2.4%
泌尿器科	108	4.2%	喘息	39	1.8%
外科	96	3.7%	甲状腺	35	1.6%
循環器科	68	2.6%	白内障	34	1.5%
耳鼻咽喉科	66	2.5%	狭心症	32	1.4%
精神科	52	2.0%	緑内障	28	1.3%
他27科の計	348	13.4%	他の病名の計	635	28.9%
合計	2,588	100.0%	合計	2,201	100.0%

◎ 病名で最も多かったのが「高血圧」で、「歯科疾患」「糖尿病」が続きました。高血圧や糖尿病は、定期的な管理が必要な病気です。定期的に受診できなくなることは、命に関わる重大な問題です。

また、長引く仮設住宅暮らし等によりストレスが増加し、高血圧の方が増えているとの情報があります。また、PTSDやうつなどの精神疾患も増えているとの情報もあります。

被災された方の健康状態を維持するためには、必要な受診ができる環境を整えることが必要です。

2. 医療費負担の免除期限が本年 9 月末日までとなっていますが、10 月からの負担発生後は、どのようにされますか。

ア. これまで通り通院する	2,121	70.2%
イ. 通院する回数を減らす	625	20.7%
ウ. 通院できない	134	4.4%
エ. 分からない	128	4.2%
無回答	12	0.5%
合計	3,020	100.0%

◎ 10 月からの負担発生後は「これまで通り通院する」が約 7 割でした。一方、3 割の方が「回数を減らす」「通院できない」「分からない」など、これまで通り通院できないと回答しています。

負担発生後に、これまで通り通院できなくなることは問題です。

3. 上記 2 で「イ、ウ、エ」を選んだ方へ。その理由はなんですか。

医療費の負担	637	71.8%
収入がない	68	7.7%
家を建てる費用にまわしたい	20	2.3%
交通費が負担	18	2.0%
通院するのに大変だから	14	1.6%
免除期限が終了するから	10	1.1%
症状が良くなってきたから	7	0.8%
その他	37	4.2%
無回答	76	8.5%
合計	887	100.0%

◎ これまで通り通院できない理由で最多だったのが「医療費の負担」71.8%でした。次いで、「収入がない」「家を建てる費用に回したい」「交通費が負担」が続きました。事業が再開できず、仕事もなく、債務解消のめども立たない状況では、医療費負担の発生は切実な問題です。また、配偶者の死亡により収入が激減したとの意見も寄せられています。

一方、「これまで通り通院する」の方も、下記の意見欄にある通り、決して金銭的余裕があるからではなく、「薬が必要だから」「通院しないと生命に関わるから」との意見が多数寄せられました。

また、「医療費免除は助かっている」「医療費免除の継続を望む」との意見も多数寄せられました。

※ 「イ、ウ、エ」を選んだ方の主なご意見（抜粋）

1. この震災があまりにも大きかったため、収入が減り余裕がない。医療費負担免除をもう少しでいいので延期して欲しい。
2. 医療費が 1 か月 1 万円かかるので、9 月までは安心ですが、これから先とっても不安です。

3. 医療費負担となれば、定期的に通院は出来ない。体調に変調が表れてから病院に行く事になる。
4. 免除期限がなくなるから。
5. 今は通院している症状でも、負担が発生するなら我慢しようと思う。
6. 医療費、交通費がかかるので、薬を多めにもらう事にします。
7. 現在、月 1 回の割合で抗がん剤治療を受けている。年金暮らしなので医療費負担が厳しいです。
8. 期限付きの仕事であるため、医療費が発生すると、どうしても削らなくてはならないものの出てくる。
9. 震災後、失業しており、住宅ローンがまだまだ残っており、具合が少々悪くても我慢してしまうと思う。途中で通院をやめてしまう気がする。
10. 免除期間が終了すると、保険料も今より 4 万円ほど多く払わなければいけません。少しでも支出を減らしたい。
11. 仮設を出て家賃を払って生活するには、9 万弱の年金では生活できません。加えて通院となると不安でたまりません。
12. 1 回の支払が高いので、今まで通りだと生活が厳しい。震災前は薬代だけで 1 万くらいかかっていた。
13. 給料が少ないから、ひどくなってから病院に行く。
14. 前の家のローンがあり、あらたに家を建てなければならない。支援も減ってきた。
15. 医療費、交通費が負担になる。仮設住宅は山の奥なので交通費が大変かかります。
16. 1 年以上通院しているが、治らない。医療費負担が多くなれば通院回数を減らすしかない。
17. 公共料金、車の維持費、食事で医療費まで払えない。死んだほうが良い。
18. 薬を減らしたり、休んだり出来ないので、検査等を少なくするしかない。
19. 免除期間が延長になれば助かります。国の力をかりて、少しでもお金を節約したいです。
20. 高額療養費制度を利用する予定ですが、収入が不安定で自己負担が大きくなるのではと不安です。
21. 薬を止めるわけはいかない。
22. 外科的治療（手術）なので治療費がかかるので、10 月以降は通院するかわからない。
23. 月 1 回の検査は必ず行かなければならないので、病院代が大変です。回数を減らすしかないですね。
24. 家計の負担になるようであれば、子ども優先に医療費をまわし、大人は我慢する。
25. 11 月に発病してから通院しています。無料で助かりましたが、治りたいので、回数を減らし通院します。
26. 会社の方針で 2 月末で免除が終了しているので、すでに負担しています。
27. 治るまで何年かかるかわからない。
28. この震災後、眠っても夢であの光景が見え目が覚める。物忘れがひどくやっと良くなってきたのに、今医療費を切られたら…。
29. 父も長期入院で費用もかかるし、今まで通りに病院代の払うことが困難です。少し

の間でも免除して欲しい。

30. できれば、免除期限を延長して欲しい。診察代（検査を含め）薬代とお金がかかるので、生活費に負担がかかります。
31. 通院したいと思うが、医療費が心配です。
32. 消費税増税を前に、これ以上負担は出来ません。
33. 私は年金生活をしていて毎日の生活で精一杯です。もう少し免除期間を延長していただきますようお願いいたします。
34. 仮設住宅が山間部にあり、歩行通院のため回数を減らします。
35. 配偶者が津波で死亡し収入が激減した。
36. 医療費を減らすため、子ども達の通院は止むを得ないが、他はなるべく通院しないようにするしかない。
37. 震災等の影響により、フラッシュバックが繰り返し発症。どれくらいの期間で治るかわからない。
38. 現状、生活が苦しいです。被災者はあの震災からあまり改善されていません。同じ被災者です。最低でも福島県と同じ日数にして欲しいです。

※「ア. これまで通り通院する。」と回答の方。

1. 薬が必要だから…38名
2. 人工透析…9名
3. 免除期間をもう少し長くできればいいのですが…。他にも治したい為。
4. 生命維持の為。
5. 通院しなければならぬ体なので。
6. 治療を止めるわけにはいかないで、大変だけど続けます。仕事もなくお金の面で大変です。
7. カテーテルを行った後、血便が度々あり都度入院。薬の作用とわかっているが、どうしようもない。不安を持ち生活しています。
8. 私は一生涯死ぬまで薬を飲まなければならないと言われました。一年間年金を半分病院代にあてなければならないです。
9. 失明の危険があるため。
10. 通院しなければならない。(インシュリン)
11. 高額医療制度を利用する。
12. 今まで医療費免除で助かりました。通院は必要であるものは行きます。
13. 現在の体調を維持したい。
14. 通院回数を減らしたいが不安です。
15. いくらお金がかかるとしても仕方がないです。
16. 通院はしますが、経済的には大変です。正直なところ。
17. 病状がすすむと大変だから。
18. 今まで以上に、増加するかもしれない。
19. これまで通り通院しますが、薬の種類を減らす予定です。
20. 通院しないと生命にかかわるから、無理しても通院します。

21. 長期的に継続的に内科診療が必要だから。
22. 出来れば、現在の通院分だけでも免除になればと思います。
23. 病気が病気だから。(パーキンソン病)
24. 長期診療のため。
25. 治療を要する為これまで通り通院はしますが、生活再建のめどがつくまで、もう少しこの制度が続く事を望みます。
26. ガン治療のため。
27. 生命維持の為、負担困難であるが、減らすわけにはいかず、高額医療費の額を見直す必要がある。癌患者は精神的苦痛も多大であり免除対象とし、この先も続けていただきたい。
28. 6 診療科通院です。でも助かった命ですが、頑張っけて通院します。総合科で診てもらえばいいのに。金銭的、時間、体力的が辛いです。
29. 一生涯通院しなければならぬ病気なので、免除されれば助かります。
30. お金がかかるが、食費を減らして通院します。
31. 今後、家を建てる計画もあり、制度の延長を希望します。
32. ガンは通院回数を減らすことはできません。
33. 命にかかわることですので無理しても通院しています。今まで通り免除されれば、本当にありがたく助かります。

4. 通院のための交通に不便はありませんか。

不便はない	1,780	59.0%
不便である	1,124	37.2%
無回答	116	3.8%
合計	3,020	100.0%

◎ 「不便である」との回答が 37.2% ありました。理由は下記の通りですが、最多が「バスの時間（便）が少ない」で「バス停や病院が遠い」「自動車がない」「交通費がかかる」が続きました。自動車を運転できない高齢の方が、特に不便を来していると考えられます。

沿岸部は震災前より交通は不便でしたが、復興に当たっては、交通の便も考慮に入れた復興計画が望まれます。

※不便である理由

バスの時間（便）が少ない	312	27.8%
バス停や病院が遠い	296	26.3%
自動車がない	77	6.9%
交通費がかかる	65	5.8%
交通手段がない	61	5.4%
三陸鉄道が不通	41	3.6%
自分で運転できない・免許がない	37	3.3%
バスの乗り換えがある	28	2.5%
高齢である・身体不自由である	28	2.5%
ガソリン代がかかる	16	1.4%
その他	36	3.2%
無回答	127	11.3%
合計	1,124	100.0%

5. その他のご意見。

1. 現在、山間部の仮設団地生活。震災 1 年半経過後に医療費支払の生活条件が回復する見込みはありません。医療費無料も仮設入居期限と同じ扱いにして欲しい。
2. 車で通院して不便はありませんが、ガソリン代がかかります。
3. 早く山田線が開通して欲しい。
4. 震災後のさまざまな出来事による心の病で通院しています。免除だから通院を始めたわけではありません。負担が発生しても通院せざるを得ません。
5. 私のように家を流されて、うつ病になった人にお金はないです。
6. 4 人家族で生活しています。3 人が通院中です。2 人は生命にかかわるので、通院を減らすことは出来ません。
7. 9 月まで本当に助かります。ありがとうございます。
8. 10 月以降の医療費支払が困ります。
9. 月の医療費が 10 万円かかる。来年 3 月まで免除期間にして欲しい。
10. 通院しないわけにはいかないので、医療免除は続けて欲しい。
11. 10 月からどうしようかと思えます。
12. 仮設住宅入居中は免除を願いたい。
13. 延長をおねがいします。
14. 是非、医療費負担免除期限を、更に半年延長して欲しい。
15. 被災者が自宅に落ち着くまで免除をお願いしたいです。
16. 町内に 4 件の医者がいます。交替で日曜診療を行ってはどうです？
17. 医療費以外にも負担が多いので、せめてあと 1 年延長だと助かります。
18. 震災前から通院していたので、不便はなかったですが、養殖もできなかったのが大変助かりました。自分で頑張ります。養殖も復活しました。

19. 中学生、高校生が整形に通院したくても、学校を休みたくないと言われ、我慢したり、治療を途中で止めたりする。放課後病院に行けるように、学生のための事を考えて欲しい。大槌町に整形（毎日）が欲しいです。
20. これから先、どこに住むかも決っていません。どれくらいお金が必要かも分からないので、少しでもお金がかからないようにしたい。
21. 老人や子どもに優しい医療を、宜しくをお願いします。
22. 国も県も市もあてにしていない、死んだほうがよい。
23. 交通費、薬が多いため、震災後に体調を崩しやすく、通院回数が増えた。
24. 震災時からの通院だけでも、免除を続けてもらいたいです。
25. 免除していただいているので、遠方の専門病院に通うことが出来ています。仕事も失っている状態なので、免除はととてもありがたく思っています。
26. 専門医が不足しています。
27. 歯科医院までの路線がなく、知人に乗せてもらうので、バス停をお願いしたい。
28. 医療費負担は本当に大きい。震災以降のストレスから病気になったケースも沢山ある事を重視して欲しい。
29. 個人病院がないため、土曜日の診療医院がないのが不便です。
30. 今の病院は仮設なので、受診するたび先生が変わる。